

氷川前遺跡 第78地点・第80地点

遺跡名	氷川前遺跡
よみがな	ひかわまえいせき
調査地点	第78地点・第80地点
主な時代	縄文時代（約年前）、平安時代
調査地	（第78地点）富士見市大字水子字西北側1426番1 （第80地点）富士見市大字水子字西北側1444-2他11筆
調査面積	（第78地点）263㎡ （第80地点）478.34㎡
調査期間	（第78地点・第80地点）平成30年7月9日～7月26日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 （第78地点）縄文時代の竪穴住居跡1軒、平安時代住居跡の竪穴住居跡2軒等 （第80地点）縄文時代の竪穴住居跡1軒、平安時代の竪穴住居跡1軒、溝跡等</p> <p>【出土した主な遺物】 縄文土器、平安時代の須恵器坏、壺、甕</p> <p>【概要】 氷川前遺跡は、北側に荒川低地を臨む武蔵野台地の水子支台に立地し、南側は江川支流により形成された支谷と面しています。これまでの調査により、縄文時代早期から後期の住居跡をはじめとした遺構や遺物、弥生時代後期～古墳時代前期初頭、古墳時代後期、平安時代、中世の遺構が数多く確認され、当時の人々にとって住みやすい環境であったことが伺えます。</p> <p>今回の2か所の地点で、縄文時代後期の竪穴住居跡1軒、平安時代の竪穴住居跡1軒溝跡等の調査を実施し、第78地点では一部を保存することとし、一部を調査しました。調査した縄文時代の竪穴住居跡は後期前半の柄鏡型住居跡と考えられます。</p>



縄文時代後期の竪穴住居跡（第79地点）



住居跡内から出土した土器と礫群（第79地点）



平安時代の竪穴住居跡（第78・80地点）



住居跡から出土した土器（第78・80地点）